

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）

事業所	横浜市西谷保育園（社会福祉法人 西谷梅ノ木福祉会）
報告書作成日	平成28年12月8日（評価に要した期間 約3か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川

評価方法


自己評価 （実施期間：28年10月1日 ～ 10月31日）	職員全員で全項目を話し合いで検討し、全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施期間：28年11月15日、16日）	評価調査員（4名）が現地視察、書類確認、面接ヒヤリング調査（園長、主任、保育士、栄養士）を行った。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：28年9月15日 ～10月31日）	<ul style="list-style-type: none"> ・全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し。 ・同園各クラスに回収箱を設置して回収し、けいしん神奈川評価者が回収箱を回収して開封した。
利用者本人調査方法 （実施日：28年11月15日、16日）	<ul style="list-style-type: none"> ・観察調査は、園内および園庭にて実施。 ・聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中に実施。



評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重



3つ…高い水準にある
2つ…一定の水準にある
1つ…改善すべき点がある

評価分類	評価の理由(コメント)
Ⅰ－1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育方針は、園内研修を行って職員全体での理解を図っています。年度が始まる前に職員に周知徹底するため、話し合いの場を設けて確認しています。玄関に加え、各クラスにも理念・基本方針を掲示し、常に意識するようにしています。掲示や面談などで保護者に保育方針について話す機会を持ち、共通理解できるように努めています。 ・子どもとの会話や関わりの実践を基に、年間計画、月案を立てています。保育過程は、毎年、全職員による会議において、保護者の意見を尊重しながら作成しています。保育課程の見直しは、年度初めに行っています。 ・毎月、月案の会議を各学年で行い、子どもひとりひとりについて職員同士で意見交換し、次月のねらいや内容を計画して保育をしています。各年齢やクラスでの職員間の話し合いを密に行ない、月案を週単位で確認、修正しています。手作り玩具を用意するなど、子どもの興味ある遊びも取り入れた計画にし、年齢や個々に合った遊びが広がるように工夫しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳以下や障害のある子どもには「個別配慮」の計画を立て、きめ細かい対応を心がけています。 ・各月齢に合わせた「食の指導計画」を作成しています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に一日入園と健康診断を行い、子どもの様子を注意深くみると共に保護者と面談を行い、家庭状況や発達状況を把握しています。リーダーや担任間で共通理解する場を持っています。また、栄養士にも伝えて食事の検討を行っています。入園後しばらくは子どもをよく見て、個人ファイル面談連絡帳に記入し、職員間で情報共有しています。 ・慣らし保育について新入園児説明会や入園式で説明しています。早く安心して通えるように、必要に応じて人形、タオルなど私物の持ち込みを許可しています。 ・指導計画作成にあたり、主任保育士がアドバイザーとなりクラス担任全員で話し合って指導計画を作成しており、その際、他クラスの職員の意見も参考にしています。毎日、担当同士で子どもたちの気になる事や様子についても話し合っています。 ・指導計画に基づき、毎月、担任と主任で月カリについて話し合いを行い、保育の調整を行います。年1回の保護者アンケートから要望等を吸い上げ、指導計画に反映させています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスに掃除マニュアルがあり、それに沿って毎日の清掃を行っています。日々の清掃安全点検を行い、その都度気になる個所を清潔に保っています。毎日の掃除に加え、年に3回大掃除を実施しています。 ・シャワーなどは安全点検を月に1度行っています。毎日朝と昼の2回、点検項目を定めた掃除マニュアルに沿って掃除を行うと共に、安全管理を行っています。給食室は業者による清掃を実施しています。布団は3ヶ月に1回布団乾燥を行い、夏場汗をかいた時は布団を干したり、土曜日に布団を広げて干すなど清潔に保っています。玩具は種類ごとに消毒リストを作成し、こまめに消毒しています。夏場などシャワーを使用した際には、子どもたちに衣服を着替えさせて、清潔を維持するように努めています。 ・体操など大きな音をたける時は合同保育にするなど工夫し、乳児クラスの活動に配慮しています。乳幼児会議による話し合いで、低年齢児に小集団保育ができるよう保育室利用の割り振りを行っています。パーティションが開閉する保育室や遊戯室、ほふく室を活用し、小集団保育を実施しています。 ・乳児は個々の成長を密に把握するため、少人数をみる担当制にしています。1～5歳児は、年3回のバイキングの日と月1回のお弁当の日を設け、園庭や屋上、遊戯室などで、合同でバイキングをしたり、お弁当を食べて異年齢児間の交流を図っています。朝、夕の合同保育や雨の日などは、体操やコーナー遊びで他クラスの子どもたちが交流しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・個別指導計画は、新入園児説明会時の健康診断、個人ファイル、児童票、連絡帳、個人面談などを基に作成しています。月案や児童票、個人ファイルなどは書式を定め、子どもの成長を記録しています。一人一人の子どもの状況、発達を職員間で話し合い、個別の関わり方を月案に反映させています。

・保護者には面談等で個別指導計画の内容について説明し、園での生活の様子も併せて伝えています。西部地域療育センターに通っている子どもには、保護者が相談に行った後で話をうかがい、保育に活かしています。

・各クラスに、引き継ぎノートやミーティングノートなどを置き、全職員が子どもの様子を共有できる仕組みがあります。また、より細やかな申し送りができるように、資料だけではなく口頭でも行っています。進級時の引継ぎは、経過記録や月案を用いて面談を行い、漏れがないようにしています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




・配慮を要する子どもは会議ノート、月案、個人ファイルで記録しています。研修報告や「保育の友」などの保育誌を回覧して見識を高めています。外部研修や乳幼児会議研修等で得た知識は記録にまとめて回覧するほか、職員会議や園内研修でも詳しく伝えて全職員で情報の共有化を図っています。職員対応を統一できるように会議で話し合っています。

・障害児個別指導計画を毎月作成しています。虐待防止マニュアルがあります。独自のアレルギーマニュアルを整備し、職員会議でマニュアルの確認や今年度のアレルギーを持つ子どもについて確認しています。車いす用トイレを整備しています。


・状況に応じて個別で落ち着いて過ごせるよう配慮しています。子どもに話を聞いたり、保護者にも声かけをして、様子をさりげなく聞いています。子どもの異変を見逃さないよう注意しており、気になるけがに気づいた場合などは、園長や主任へ報告し、行政とも連携ができる体制ができています。

・アレルギー児には栄養士と保育士で保護者と個別面談を行い、かかりつけ医の指示書も確認しています。アレルギー反応が出た場合はすぐに面談を行い、担任と栄養士で対応を検討します。チェックファイルを使用し、アレルギー児の席の確認、アレルギー児とアレルギー児用の食器になっているかの確認、栄養士の確認を得てからの食事提供、職員同士で指差し・声出し確認を必ず行い、2重3重のチェックを行っています。エピペンを預かった際には使用方法を確認し、食事を提供する際に復唱してミスの防止をしています。アレルギー児の保護者にはあらかじめ給食メニューを手渡しして確認してもらっています。

・外国籍や帰国子女などには、園で使うものは実物を見せる他、見本や絵、写真を利用して説明しています。役所が作成した多言語対応の冊子を外国籍の保護者に手渡し、コミュニケーションツールと

	して使用しています。宗教上の理由による食事にも個別の対応をとっています。
I - 6 苦情解決体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出入口に苦情受付窓口の連絡先を示しています。苦情や要望を受け付ける意見箱を設置しています。 ・ 保護者向けアンケートを年1回、2月に実施しています。行事後もメール送信などをし、保護者が意見、要望を言いやすい環境を作っています。アンケート後は、会議で改善策を検討しています。アンケートの内容や改善策は廊下へ貼り出し、要望に対しては返答し全ての保護者が見られるようにしています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
Ⅱ - 1 保育内容 [遊び] 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが主体的に活動できるよう保育室内の玩具は複数の種類を常に用意して、子どもが自由に取り出して遊べるようにしています。子どもの人数が多いため、少人数に分けたり、コーナーの設定をするなどの工夫をしています。「自由保育という行事」を行い、主活動の時間に自分のやりたい遊びを選択し、自由に楽しめる活動があります。 ・ 一斉活動に偏らないよう主活動の時間の中で、一斉活動と自由に遊べる時間の配分を考慮して日案を立てています。保育士が遊びに加わることで、様々なやり取りを通じて興味や関心を広げています。個々の興味から集団へとつなげられるようにしています。年齢に合わせて「しっぽ取り」や「鬼ごっこ」など、ルールのある集団遊びにつなげています。 ・ 園外活動で図鑑を持って散歩に出掛けることがあります。ドングリや銀杏など季節感のあるものに触れる機会を持っています。「陣ヶ下溪谷」や近くの緑豊かな公園に行き、季節を感じながら自然に触れる遊びを多く行っています。散歩などで地域の方と会った際は、保育士が見本となり挨拶や会話をする機会を持っています。「夕涼み・もちつき・、芋掘り、うどん打ち」などの行事で地域の方と協力して行い、交流する機会を多く持っています。 ・ 自発的な選択や表現ができるよう折り紙や色鉛筆、紙、その他の興味に合わせて素材を用意して自由に使えるようにしています。年齢に合った内容の制作を多く取り入れ、その中で子どもたちの個性を大切にしながら表現できるようにしています。手遊びやリトミックを取り入れ音楽に合わせて体を動かす機会などにより、表現する楽しさを味わえるようにしています。 ・ けんかなどの際は、子どもの話を聞き、子どもに考えさせたり、年齢によっては互いの気持ちを代弁するなど年齢に合わせた対応を

行っています。日々の保育の中で、他のクラスの子どもが少人数ずつ遊びにくるなどの交流を持っています。土曜保育の異年齢で過ごす際には、年上の子どもは小さい子のお世話をしたり、一緒に遊んであげるなどの関わりが持てるよう、保育士も働きかけています。

- ・計画的に屋上や園庭などの戸外活動を行っています。朝の時間に体操やかけっこを行っています。遊戯室の使用日には時間をしっかり設けて一人一人体を動かすことができるように意識的に行っています。運動能力を高められるよう散歩は徐々に距離を伸ばします。かけっこやとび箱、なわとび、鉄棒、うんていなど年齢や月齢に合った遊びや遊具を用意し、保育士も一緒に遊びながら体を動かしています。プールや園庭の日よけを設置し、日よけ付きカラー帽子の使用を行っています。医師の処方による場合には必要に応じて日焼け止めを塗ります。

Ⅱ－１ 保育内容【生活】






- ・栄養士が年齢ごとの年間食育計画を作成し、子どもたちの食育に取り組んでいます。食育の日を設けて食材に触れることや、ピラードで皮むきしたものを調理してもらい給食時に味わう活動もあります。

- ・自由保育という行事に合わせてバイキング形式の給食を行っています。絵本や食材カードを使い3色食品群（体をつくる食材・力をつける食材など）を伝え、自らがバランスよく盛り付けし楽しく食事ができる様にしています。行事の後には絵カードを使い、何を食べたかを確認する活動もおこなっています。幼児クラスは当番を決め手伝いなどできる環境を作っています。子どもたちは給食やおやつを席まで運んでいます。

- ・2～3ヶ月の短い期間での献立の繰返しをなくしています。毎日献立が違うことにより、中華・和風など色々な味つけで食材を口にすることができます。七夕やクリスマスなどの行事食では、季節の食材を取り入れるよう工夫しています。クリスマスメニューの時に音楽をかけて雰囲気を作ったりしています。

- ・栄養士と調理員で連携を図るため給食ノートを活用しています。食育を通して、できる限り子どもたちとコミュニケーションをとれるよう心掛けています。苦手なものも食べてみる、頑張ってみるなどの言葉かけを行い、楽しみな時間になるようにしています。見分量を目安に、そこから一人一人子どもの様子に合わせて調整しています。残量を毎日、日誌に記録しています。

- ・毎月の献立表は、各家庭に配布しています。給食だよりを毎月発行し、保護者に伝えています。玄関や乳児室の視診室に当日の給食サンプルを展示しています。保護者からの要望がある時には、レシピを提供しています。保育参観で試食する機会を設けています。保護者の相談内容に応じて、栄養士や准看護師の専門職が面談できる機会を設けています。

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時に一人一人の健康状態を保護者に確認し、気になることは引き継ぎノートに記入し、担任や遅番に伝達もれがないようにしています。職員用の引き継ぎボードやメモ用紙を活用し、次の日に担当した職員が把握できる体制にしています。 6月の虫歯予防デーに合わせ、准看護師が歯の磨き方を伝えています。職員は仕上げ磨きをしています。歯磨きの大切さを虫歯予防デーや保健だよりで保護者に伝えています。 ・健康診断（年2回）歯科検診（年1回）があり、その都度結果を保護者に報告し共有しています。診断結果や検診結果の状況を把握して保育に反映し、個人ファイルに記録し保管しています。 ・感染症対応マニュアルを基に、保護者に説明し対応の協力をお願いしています。発症が認められる場合は速やかに状況を伝え、保護者の意向も聞いて最善の対応をしています。発症した際は、准看護師が作成したお知らせを掲示して周知できるようにしています。園内研修にて毎年2回ずつ全職員が嘔吐下痢の処理の仕方を確認し実践しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルは、年度末に再確認し、見直しをしています。掃除マニュアルを用いて職員個々による違いがないようにしています。毎日掃除し、大掃除は年に3回実施しています。園内研修のテーマに取り入れて研修を行っています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、さまざまな想定のもと避難訓練を行っています。避難経路や時間帯（夕方も含め）を変えて訓練を行っています。抜き打ちで訓練する機会を設け、発災時に落ち着いて行動できるようにしています。災害時の分担を決め掲示しています。保護者にはメールを使い必要な情報を伝えています。訓練の結果をメールで配信しています。棚などストッパーを付け転倒防止をしています。エピペンの使用法は全員が周知しています。 ・救急で何か起こった時の連絡体制ができています。事故があった場合は、会議でも再発防止について検討しています。怪我があった場合の保護者への連絡方法や報告の仕方などをマニュアル化しています。 ・不審者対応マニュアルがあります。マニュアルに沿って、不審者対応訓練を実施し、研修でも対応を学んでいます。地域の方が利用する施設や消防団の車が在庫しているため施錠はしていませんが、門の位置を玄関から離したり、門を二重にしています。不審者情報は行政や近隣の保育園、関係機関からFAX・電話などで連絡があり、情報を共有しています。

Ⅱ－３ 人権の尊重



・人権については、園内研修や会議などで話し合うほか、外部研修にも積極的に参加しています。月案やクラスでの話し合いも人権を意識し、一人一人に愛情を持って接するよう、子どもに応じて声かけや触れ合う時間を設けています。

・プライバシーの確保では、コーナーや仕切り、家具などを利用して空間を確保するほか、子どものスペースを作る工夫をし一対一で話し合える配慮をしています。

・個人情報の取扱いや守秘義務について就業規則に明記し、職員に周知しています。廃棄に際してはシュレッダー処理をしています。事務所に保管している書類は鍵をかけ管理しています。各保育室に保管しているファイルは担任が管理しています。保護者には入園説明会で取り扱いの説明をしています。ボランティアや実習生向けのマニュアルがあり個人情報の取扱いについて毎回伝えています。

・性差で遊びを限定しないようにしています。園児が多いことから名簿や人数を即時確認するため、男女別の整列を促しますが、「男の子だから」などの言葉は使わないようにしています。

会議でも話し合い、性差のないように理解を深めています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



・入園説明会や懇談会で基本方針を説明しています。基本方針に沿った保育内容を連絡帳や懇談会で伝えています。保育園の玄関や各クラスに掲示して理解してもらえるように努めています。１年に１回、方針の理解や要望なども含め保護者アンケートを実施しています。

・毎日の送迎時には、保護者と少しでも会話ができるように時間を作っています。また、連絡帳やメール配信を利用して情報の交換を行っています。連絡用のホワイトボードで一日の活動内容を伝えています。

・個別面談は年１回実施し、保護者から要望があれば随時面談を行っています。保護者の相談は、周りに他の保護者が居ないかを確認し、内容に応じては改めて面談日なども決めていきます。相談内容に応じて、園長や主任、リーダー、クラス内の職員とも話し合っ対応しています。

・離乳の進み具合や不安なことを安心して解決できるような環境づくりをしています。進級時には、乳児・幼児会議で、内容の引き継ぎをしています



・園だより、クラスだよりを毎月配布しています。クラスだよりには、お知らせやお願いのほか、クラスの様子分かる内容も載せています。廊下には日々の保育の写真を掲示し販売もしています。食育やバイキングなどの行事も、楽しい雰囲気保護者に伝わるようポスターや写真を掲示して知らせます。

・年間行事計画を配布し、その他の予定も事前にメールの配信や連絡用のホワイトボードで知らせています。参加しやすいように２カ月前に再び日程を知らせ、調整しやすい工夫をしています。日程変




更は素早く伝えるようにし、近隣の小学校の行事となるべく重ならないように配慮しています。保育参観では食事の様子も合わせて見てもらい、当日のレシピの掲示やおたよりでも行っています。

・保護者会からのお知らせや手紙の配布をしています。行事などでは互いに協力し合っています。保護者会には園長・主任が参加し情報提供をしています。保護者会は各クラスで親睦会を行い、保護者同士の交流をはかる機会にもしています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能




評価分類	評価の理由(コメント)
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<p>・地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みとして、プレママの実施や地域住民に対して育児相談を行っています。また、地域行事の場所の提供や、関係機関や他施設との検討会や研究会を行っています。さらに、赤ちゃん教室への参加、講師派遣、公園での地域の親子との交流を行うほか、アンケートによる地域の子育て支援ニーズの把握を行い、できる限りその要望に対応するよう努力しています。</p> <p>・地域の子育て支援ニーズに応えるため、園の見学を随時受け付けています。また、月に一度、プレママ、プレパパを実施し、必要に応じて食事時の見学や、准看護師や栄養士と話す機会を設けています。さらに、園庭開放の際は季節の遊びや時期に応じた内容を盛り込んでいます。なお、職員会議などにおいて園長より地域の子育て支援ニーズについて話し、職員の理解を深めるようにしています。</p>
Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能 	<p>・地域住民への情報提供として町内会の掲示板および園の入り口に育児相談の予定日や園からのお知らせを掲示しています。育児相談は毎週木曜日に定設けており、相談に来園したときには、育児相談を含め園児と一緒に遊べるようにしています。</p> <p>・相談の対応に必要な関係機関等はリスト化し、その情報を職員で共有しています。関係機関・団体等との連携は園長および主任が担当し、相談内容に応じて必要な連携ができる体制ができています。なお、日々の保育のなかで些細な変化を見逃さないようにするとともに、気になったことは記録に残すようにしています。園児で気になる家庭があれば関係機関に報告し、連携して対応しています。</p>

評価領域Ⅳ 開かれた運営




評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の地域開放や地域コミュニティへの働きかけなど、当園に対する理解促進を深めるよう努力しています。具体的には、夕涼み会、運動会、人形劇、プレママ・プレパパ、園庭開放などに地域住民を招待しています。その他、中高生の職業体験、インターンシップ、福祉まつり等で交流を図っています。近隣の小学校とは交流を図り、保育所児童保育要録の作成などでも連携しています。土曜体操教室では、園のホールを貸したり、育児講座で当園の施設やおもちゃを貸し出したりしています。 ・地域との交流を図るため、地区センターやログハウスなど地域の文化・レクリエーション施設等を利用しています。がやっこ、西部地域療育センター、保土ヶ谷区役所、こっころなどを通して積極的に地域の人達との交流を図っています。西谷の祭りに参加、ケアプラザで地域子どもたちと交流、保土ヶ谷区民祭りに参加など、地域との交流を通し、子どもの生活の充実と地域の理解を深めるよう心がけています。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、広報誌等により当園に関する情報を提供しています。社会福祉経営のホームページを通じて、園の決算情報などを公開しています。 ・利用希望者の問い合わせや園の見学は、園長・主任・事務員が対応し、行事日を除いて対応しています。また、パンフレット等でも見学できることを案内しています。一時保育では対応マニュアルを職員に配布し、問い合わせや見学に対応できるようにしています。合同育児講座に参加される地域の方には、当園のパンフレットを配布しています。 ・園内に職員紹介表を置いています。入園希望者には重要事項説明を必ず行っています。
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れでは、事前に利用者に園の基本的な考え方・方針を理解してもらうように説明します。中学生から高校生、大学生、社会人まで幅広くボランティア希望者を受け入れています。保育に興味・関心が持てるように、保育士の見守りのなかで体験できるようにしています。ボランティアからは感想や意見をうかがい、園の運営に反映させるようにしています。 ・実習生の受け入れでは、経験回数により実習内容を定め、効果的な実習が行われるようにプログラムを工夫しています。その際、実習生が所属する学校の方針を理解したうえで対応しています。実習生には見学実習より参加型実習に重きをおいています。部分実習の回数もより多く経験できるように、事前に知らせて指導案を書ける

	<p>ようにし、当園の担当からのアドバイスを受けられるようにしています。初めての実習では0歳児クラスから幼児クラスまで成長の段階がわかるようにし、2度目の実習では初回で実習したクラスに配置し、子どもの成長が実感できるようにしています。</p>
--	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
V-1 職員の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は年度初めに各自目標を定め、年2回自己評価で達成度や反省を行い、それについてのヒアリングも行い、保育の質が向上するように努めています。 ・人材育成のための研修計画があり、外部研修会へ各自年1回以上、参加しています。研修参加者は会議で報告をするほか、研修報告書を必ず作成し、全職員で回覧して共有しています。 ・非常勤職員へも研修を行っています。また、園長よりクラスリーダーを通して必要事項を伝達しているほか、マニュアルも配布しています。非常勤も月案会議に参加し、会議ノートも回覧しています。
V-2 職員の技術の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験に応じた研修への参加を促しています。 ・園評価表があり、職員会議にて話し合っています。その結果を踏まえ、園長先生より改善すべき点や改善方法等が示され、職員で話し合っています。 ・月案や会議などで、事例なども含めながら、子どもの育ちの経過が大事であることを繰り返し伝えていきます。また、行事をするたびに反省を行い、行事の内容、運営についてもスキル向上に努めています。
V-3 職員のモチベーションの維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員はやる気があり、アレルギーの子どもへの給食対応や食育などでは創意工夫が見られます。ただ、経験などに応じた役割の期待水準が不明瞭となっています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
VI-1 経営における社会的責任 	<ul style="list-style-type: none">・決算書の公開、法人内容を公開しています。就業規則があるほか、園独自の約束事が明文化されて職員は周知しています。・牛乳パックを利用した椅子、ペットボトルを利用して玩具にするなどのほか、園服のリサイクルやチラシの裏紙を使用するなど、製作で工夫しています。・室内では電気・エアコン等の使用方法と設定温度の確認を行い、室外では園庭に芝生、草木を植えて緑化に心がけています。 (梅の木)
VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 	<ul style="list-style-type: none">・保育園の理念や基本方針等は、ミーティングや職員会議にて話すほか、園のしおりを職員に配布しています。また、玄関、保育室内に掲示し周知しています。・異なる部門、例えば保育士と栄養士で食物アレルギー児についての内容を共有し、常にその子どもに合った食物について検討しています。また、離乳食では個々に合わせた食事の段階を保育士、栄養士で検討しチームとして共有しています。・重要な意思決定をするにあたり、園長は常に保護者役員を中心に意見に耳を傾けています。また、園側の意見も保護者に丁寧に伝えられる場があります。・主任はフリーとして動ける体制をとっており、不測の事態に対応できるようにしています。また、月案に参加して助言等を行い、それぞれの立場に応じてアドバイスを行っています。その他、シフトでは業務状況を把握して、朝の職員配置を行い、中途採用された職員には職務に不安がないよう配慮しています。
VI-3 効率的な運営 	<ul style="list-style-type: none">・理念、基本方針の観点から地域に開かれた園を目指し、一時保育の受け入れ、子育て支援の講座を他園と共同で開催しています。また、毎月リーダー会議で重要な外部環境に関する情報を議論し共有しています。・人材育成ではスキルアップを目指して長期的な視点を持ち、職員ごとに見合った研修等に参加することを実践しています。ただ、保育園運営に関する中長期的な計画や目標は明文化されていません。

利用者家族アンケート

■結果の概要

- ・総合的な満足度（「満足」「どちらかといえば満足」の合計 以下同じ）が93.8%でした。
- ・園の基本方針では「よく知っている」「まあ知っている」の合計が62.8%でした。
- ・「日常の保育内容について」の「遊び」について」の項目はすべて満足度（満足とどちらかといえば満足の合計）が90%以上でした。
- ・「日常の保育内容について」の「生活」について」の項目はすべて満足度（満足とどちらかといえば満足の合計）が85%以上でした。その中でも、「基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては」では満足度95.6%でした。
- ・満足度が一番高かったのは、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては」で97.3%でした。
- ・「施設設備については」では不満足（どちらかといえば不満と不満の合計）が12.4%、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策については」は同44.2%で、設備の老朽化とそれに伴う施錠についての注意が必要です。
- ・「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については」は不満足が25.9%で注意が必要です。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育 目標・保育方針をご存知 ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらとも いえない	あまり知らない	まったく 知らない	無回答	計
	6.2%	56.6%	18.6%	11.5%	4.4%	2.7%	100%

(付問) あなたは、その保育目標や保 育方針は賛同できるものだと 思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらとも いえない	あまり 共感できない	まったく 共感できない	無回答	計
	73.2%	25.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	52.2%	24.8%	3.5%	0.0%	18.6%	0.9%	100%
その他							
入園前の見学や説明など、園 からの情報提供については	51.3%	32.7%	6.2%	0.9%	7.1%	1.8%	100%
その他							
園の目標や方針についての説 明については	46.0%	41.6%	5.3%	0.0%	5.3%	1.8%	100%
その他							
入園時の面接などで、お子さ んの様子や生育歴などを聞く 対応については	43.4%	41.6%	5.3%	0.9%	6.2%	2.7%	100%
その他							

保育園での1日の過ごし方についての説明には	53.1%	37.2%	4.4%	1.8%	2.7%	0.9%	100%
	その他						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	54.0%	31.9%	10.6%	0.9%	1.8%	0.9%	100%
	その他						
問3 保育や行事の年間計画について							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	46.00%	40.70%	8.80%	2.70%	0.90%	0.90%	100%
	その他						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	32.70%	45.10%	10.60%	4.40%	5.30%	1.80%	100%
	その他						
問4 日常の保育内容について							
「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	62.8%	31.0%	4.4%	0.9%	0.0%	0.9%	100%
	その他						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	67.3%	25.7%	3.5%	1.8%	0.9%	0.9%	100.0%
	その他						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	57.5%	37.2%	1.8%	0.0%	2.7%	0.9%	100%
	その他						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	60.2%	32.7%	3.5%	0.9%	1.8%	0.9%	100%
	その他						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	59.3%	35.4%	2.7%	0.9%	0.9%	0.9%	100%
	その他						

遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	53.10%	40.70%	2.70%	2.70%	0.00%	0.90%	100%
	その他						

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	71.7%	21.2%	2.7%	2.7%	0.9%	0.9%	100%
	その他						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	67.3%	25.7%	4.4%	0.0%	1.8%	0.9%	100%
	その他						
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	72.6%	23.0%	1.8%	0.0%	0.9%	1.8%	100%
	その他						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.5%	30.1%	7.1%	1.8%	1.8%	1.8%	100%
	その他						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	62.8%	22.1%	2.7%	2.7%	8.8%	0.9%	100%
	その他						
お子さんの体調への気配りについては	63.7%	30.1%	4.4%	0.0%	0.9%	0.9%	100%
	その他						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	57.5%	30.1%	5.3%	1.8%	4.4%	0.9%	100%
	その他						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	32.7%	53.1%	10.6%	1.8%	0.9%	0.9%	100%
	その他						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	48.7%	43.4%	6.2%	0.0%	2.7%	0.9%	100%
	その他						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	10.6%	42.5%	26.5%	17.7%	1.8%	0.9%	100%
	その他						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	47.8%	42.5%	7.1%	0.9%	0.9%	0.9%	100%
	その他						

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談など による話し合いの機会につい ては	46.9%	42.5%	6.2%	0.9%	2.7%	0.9%	100%
その他							
園だよりや掲示などによる、園 の様子や行事に関する情報提 供については	55.8%	34.5%	5.5%	1.8%	2.7%	0.0%	100%
その他							
園の行事の開催日や時間帯へ の配慮については	48.7%	38.1%	7.1%	2.7%	3.5%	0.0%	100%
その他							
送り迎えの際、お子さんの様子 に関する情報交換については	33.90%	38.40%	17.00%	8.90%	1.80%	0.00%	100%
その他							
お子さんに関する重要な情報 の連絡体制については	42.5%	45.1%	8.0%	2.7%	1.8%	0.0%	100%
その他							
保護者からの相談事への対応 には	46.90%	42.50%	5.30%	2.70%	2.70%	0.00%	100%
その他							
開所時間内であれば柔軟に対 応してくれるなど、残業などで 迎えが遅くなる場合の対応に ついては	55.80%	35.40%	3.50%	0.90%	4.40%	0.00%	100%
その他							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にさ れているかについては	52.20%	40.70%	3.50%	0.90%	2.70%	0.00%	100%
その他							
あなたのお子さんが保育園生 活を楽しんでいるかについ ては	62.80%	34.50%	1.80%	0.00%	0.90%	0.00%	100%
その他							
アレルギーのあるお子さんや 障害のあるお子さんへの配慮 については	44.20%	29.20%	3.50%	0.00%	21.20%	1.80%	100%
その他							
話しやすい雰囲気、態度であ るかどうかについては	45.10%	41.60%	9.70%	0.00%	3.50%	0.00%	100%
その他							
意見や要望への対応につい ては	36.30%	46.00%	8.00%	1.80%	7.10%	0.90%	100%
その他							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	53.10%	40.70%	2.70%	1.80%	1.80%		100%

本人調査

0歳児：保育室の畳が敷いてあるエリアに子ども

と保育士が集まって見守りや遊びの相手をしています。自分の足で元気に立ち上がって嬉しそうにしている子どもがいます。保育士は見守りながら援助の手を差しのべることもあります。お座りしている子どもや保育士に抱っこされ安心して休んでいる子どもがいます。元気にハイハイしている子やバランスを取りながらよちよち歩きをしている子もいます。

1歳児：0歳児と1歳児の畳のエリアはつながっており隣あっています。仕切りがありそれぞれに分かれて遊んでいます。ほとんどの子どもは自由に立ち歩きができています。大人が保育室に顔を入れると数名の子どもが立ち上がって珍しそうに眺めています。

2歳児：お帰りの仕度をしています。保育園の園服を上手に羽織っている子どもがいます。上手く着ることが出来ない子どもがいます。保育士が側で手を貸して一緒に仕度をしています。

3歳児：「お帰りの歌」と「体操」を皆で元気に行っています。終わったあと、子どもたちは自由遊びをしています。数人の子どもと保育士と一緒にテーブルの上にパズルのピースを置きながら、何が合うのかを見つけて遊んでいます。どんな遊びが好きかと尋ねると「ドッジボール」と答え、「じゃうすなの？」と尋ねると「うーん」とはにかみながらも笑顔を見せます。

4歳児：給食の時間が始まり、子どもたちは4～5人ずつ1つのテーブルに座り楽しそうに話をしています。主食や主菜、しる椀は配膳の作法に従って並べています。「おとうばん」をしている班がテーブルの脇に立って開始の挨拶をして食べ始めます。箸を上手にもっておいしそうに食べています。「何がおいしいですか」と聞くと「全部！」と答えてくれます。「これは何ですか」と指し示すと「お肉！」・「玉ねぎ！」などと、ハッキリと答えてくれます。

5歳児：遊戯室（ホール）では、当月に誕生日を迎える子どもが、誕生会で行う演技や演奏の練習をしています。保育士と向き合いながらマラカスや鈴のなる楽器の練習です。少し難しそうなのか心配そうな表情ですが、一生懸命に練習をしています。大きくなったら何になりたいと聞くと、「自衛隊で困っている人を助けたい」、「車屋さん」と、みな明るく答えてくれます。

事業者コメント

第三者評価を受けるにあたり、良い評価を得る為に受けるのではなく、今の保育園の客観的な評価、保護者の声を職員と共に受け止めることで、立ち止まって考える事の出来る良い機会になると思っていました。2年前から年に一度保護者アンケートをとる事により、職員の意識が少しずつ変わっていき3年後には第三者評価を受けることを伝えてきました。

受審に向けての準備では1つ1つグループ毎で職員同士話し合った結果が書き記されています。色々な課題が見えてきましたが、良かった点もたくさんあり、職員自身が内容が整っている事を認識出来た点は価値ある事だと思います。又、正すべき点もはっきりと第三者の視点から、立ち止まって考え保育士として自身を見直す機会が出来た点が良い点だと思います。質の向上や職員のスキルアップへの意欲に大いに役立つ事が出来た点も喜ばしい事と考えます。

保護者アンケートは多くの意見を頂き感謝しています。喜ばしいご意見をたくさん頂戴した事、不備を感じていらっしゃる事もわかり、より一層努力していく必要性を感じています。

数多くの意見を参考に出来る所から改善し、より安心してお子さんを授けて頂ける園を目指していきます。
